

看護研究バックナンバー(内容紹介)

MAR
APRVol
46
No
02

特集 | 看護学における事例研究法 新たな研究デザインへの可能性

- 事例研究法における認識論的課題 内田雅子
- 時間的経緯を踏まえた看護学における事例研究法の意義に関する論考 黒江ゆり子

【看護実践における事例研究】

〈事例報告から事例研究へつなぐプロセス〉

- 研究課題の明確化 伊波早苗
- 事例研究におけるデータ収集と分析 東めぐみ

〈事例研究の実践〉

- 看護実践者が行なう事例研究の一試案—糖尿病看護における待つ看護の検討 東めぐみ
- 2病院に通院する複合疾患患者の心不全のコントロールと生活調整 仲村直子
- C型肝炎患者の不確実性の受けとめの変化プロセスと支援の検討 長谷佳子
- 倫理的課題を乗り越えた先にあるもの 小長谷百絵
- 実践知につなぐ事例研究—事例の事例研究から複数事例研究へ 木下幸代
- 看護研究、事例研究法における倫理—弁護士からの視点から 増田聖子
- これからの事例研究法の意義と可能性—事例研究会の取り組みを通じて 野並葉子

●特別肥事

米国の看護研究の先端を行く 2012State of the Science Congress on Nursing Research に参加して 松田結

●連載

看護における質的研究の前提と正当性・2 言語について 家高洋
Words, words, words. —研究と言語—質的研究のために⑧ 言語の特徴 江藤裕之

JAN
FEBVol
46
No
01

特集 | 被ばく医療における看護の人材育成と研究 弘前大学大学院被ばく医療人材育成プロジェクト

- 被ばく医療人材育成プロジェクトの概要 對馬均
- 緊急被ばく医療に関連した看護研究の動向 富澤登志子, 漆坂真弓, 北島麻衣子
- プロジェクトにおける体制づくりと研修の展開, 諸機関との連携 木立るり子, 齋藤久美子, 古川照美

〈プロジェクトにおける被ばく医療教育〉

- 学部, 大学院, 現職者における被ばく医療教育の概要—大学院を中心に 一戸とも子, 木立るり子
- 現職者を中心とする被ばく医療教育 井瀧千恵子, 北嶋結
- 原子力災害における看護活動と福島第一原子力発電所事故への対応 野戸結花, 北宮千秋

〈海外における被ばく医療教育—研修から得た学び〉

- 米国 REAC/TS における研修を通して 高間木静香, 横田ひろみ
- チェルノブイリ原発事故後 26 年のいまを学ぶ 北宮千秋
- フランスにおける被ばく医療体制と教育 野戸結花
- 米国 UCSF 研修を通して, 米国のがん放射線治療と看護を考える 曾津桂子, 北島麻衣子, 安杖優子
- 被ばく医療における人材育成のこれから 西沢義子

●研究ノート

“発見と学びをもたらす質的研究の醍醐味” を伝えるために—『質的統合法入門—考え方と手順』を読んで 萱間真美

●連載

看護における質的研究の前提と正当性・1(新連載) 質的研究の前提と主題は何か 家高洋
Words, words, words. —学際的なダイアログをめざして⑦ 記述と規範 江藤裕之

NOV
DECVol
45
No
07

特集 | 臨床看護師が取り組む研究モデルの探究

- 本特集の構成について 坂下玲子

〈国内の現状と課題〉

- 臨床看護研究に関する文献検討 宇多絵里香
- 臨床看護師が取り組む看護研究の実態 坂下玲子, 西平倫子, 西谷美保
- なぜ, 病院は看護研究に取り組むのか 宮芝智子
- 臨床から発表される論文の検討 北島洋子

〈海外の状況から〉

- 米国における臨床看護研究の現状—スタッフナースへの研究活動支援プログラムに着目して 岡田彩子

〈モデルの探究〉

- Evidence-Based Patient Management, Micro-Evidence, and Micro-Trialing Ivo Abraham, Karen MacDonald
- 翻訳 エビデンスに基づく患者マネジメント, マイクロエビデンスとマイクロトライアリング Ivo Abraham, Karen MacDonald / 翻訳: 坂下玲子
- 研究モデルの提案 坂下玲子
- 意義ある臨床看護研究のあり方—まとめにかえて 坂下玲子, 内布敦子, 片田範子

●特別記事

日本の医療分野における質的研究論文の検討(第3報) データ分析 戈木クレイグヒル滋子, 三戸由恵, 関美佐

●連載

Words, words, words. —学際的なダイアログをめざして⑥ 記述と規範 江藤裕之
看護研究の基礎—意義ある研究のためのヒント・12(最終回) Mixed Methods 研究 坂下玲子

